

令和 3 年度
事務事業評価シート
(社会教育・スポーツ課)

総合評価ランク

A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている
B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている
C	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い
D	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要

野辺地町教育委員会

目 次

1 一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	
（ 1 ） のへじ元気講座	40
（ 2 ） ハッチョウトンボ観察会	41
（ 3 ） 町文化賞、教育委員会文化賞の表彰	42
（ 4 ） 馬門公民館教養講座	43
2 次世代を担う青少年の育成	
（ 1 ） 子ども会事業	44
（ 2 ） 在学青年ボランティア会	45
3 地域を支える人材の育成	
（ 1 ） 生涯学習大学	46
4 学校・家庭・地域の連携による社会全体の教育力の向上	
（ 1 ） 家庭教育推進事業	47
（ 2 ） いのちのお話出前講座	48
5 社会教育推進のための基盤整備	
（ 1 ） 社会教育団体の支援	49
（ 2 ） 生涯学習カレンダーの発行	50
6 生涯スポーツの普及・振興	
（ 1 ） 町スポーツ賞、教育委員会スポーツ賞の表彰	51
（ 2 ） 健康ウォーターマラソンスタンプラリーの開催	52
（ 3 ） 青森県民スポーツレクリエーション祭参加	53
（ 4 ） 学校体育施設の開放促進	54
（ 5 ） 地域総合型スポーツクラブの検討	55
（ 6 ） 水泳教室開催	56
7 青少年スポーツの振興	
（ 1 ） スポーツ少年団への支援と育成	57
（ 2 ） 町営球場開設記念兼ライオンズクラブ旗争奪中学校野球大会の支援	58
（ 3 ） 青森県小学生スキー大会の開催	59
8 競技スポーツの推進	
（ 1 ） 青森県民駅伝競走大会選手強化支援	60
（ 2 ） 町スポーツ協会活動支援	61
（ 3 ） 競技スポーツ強化支援事業	62
9 スポーツ情報の充実	
（ 1 ） スポーツ史発行に向けて記録等の情報収集及び保存	63
10 社会体育施設・設備の整備・運営	
（ 1 ） 体育施設の総合的な修理修繕と運営	64

事務事業評価シート

施 策 名	一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	のへじ元気講座	担当者名	貝塚千佳

事業の目的・内容	参加者の自主的な学習意欲を促進し、相互交流を通して地域活性化を図り町を「元気」にすること、参加者一人ひとりが生きがいを見つけ「元気」な生活を送るための心と体の健康づくりを目的に実施する。		
事業の対象	成人		
事業費	年度	令和 2 年度決算	令和 3 年度決算
	金額	47 千円	40 千円

事業の実績・成果等 (数値)	受講料 1,000円 受講者27名、延べ受講者116名 ①「のへじふるさとカルタからみる野辺地の歴史」(歴史を語る会 鈴木氏) ②「ハッチョウトンボ観察会」(高沢岩男 氏) ③「かしこい年金生活」(金融広報アドバイザー 川村氏) ④「弘前大学交流会」(弘前大学 山田厳子教授 ほかにゼミ生) ⑤「映画観賞会」 ⑥「室内カーリング」(種差少年自然の家) ⑦「点描曼荼羅」(曼荼羅ナビゲーター 棟方氏)
-------------------	--

事業の評価（自己評価）	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☒ 十分できている	☐ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	・参加者がほぼ女性であり、男性も気軽に参加できるよう工夫を凝らす必要がある。 ・今後も受講生からの意見を参考に、講座内容を工夫し、幅広く学習・活動できる場を提供する。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	R2参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見(参考:令和2年度の評価意見)

・参加者が興味を持って受講する講座内容については様々と思うので、これからの参加者の意見や要望に沿った事業であって。

・今後受講生からの意見を参考に活動内容の希望や活動時間帯の希望を知り、充実した講座を期待しています。成人対象となっているので、若い人も参加出来たら良いと思います。平日のほかに1回でも休日にも可能性があれば。

・様々なジャンルの講座があり、参加する人を飽きさせない工夫が伺える。

評価委員意見(令和3年度)

・講義内容についても工夫して活動していることが非常に良いと思う。受講者の参加をどのように増やすかが課題。

・元気講座の活動時間帯等も含めて、若い人たちの多くが参加できるように工夫も必要だと思う。

・男性も気軽に参加できるようにしてほしい。

・講座開設前に希望アンケート調査をしてはどうか。

事務事業評価シート

施 策 名	一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	ハッチョウトンボ観察会	担当者名	野坂 鳳真

事業の目的・内容	まかど温泉スキー場あったかハウス「まかどの森」前に絶滅が危惧されているハッチョウトンボの生息が確認されたことから、生息域を保護しつつ、その魅力を伝える。平成28年度から、町内小学校3年生を対象に総合的な学習として観察会を実施している。		
事業の対象	町内小学校3年生（町内小学校4年生）		
事業費	年度	令和 2 年度決算	令和 3 年度決算
	金額	0 千円	20 千円
			令和 4 年度予算
			10 千円

事業の実績・成果等（数値）	・ハッチョウトンボ生息域内への侵入を規制（6月～10月）し、トンボが生息できる環境づくり・保全を行っている。 ・観察会は、文化財保護審議委員の高沢岩男氏を講師に招き、前年度新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった新4年生も含め実施した。 町内4年生及び馬門小学校3年生 実施日：令和3年7月14日（水）10：00～ 町内3年生（野辺地小学校／若葉小学校） 実施日：令和3年7月14日（水）14：00～		
---------------	---	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	・ 観察会では新聞社へ取材を依頼し、その結果町外から観察へお越しいただいているため、今後も継続していく必要がある。 ・ ハッチョウトンボの様子をホームページに掲載するなどして一般への情報発信をしていきたい。 ・ ハッチョウトンボを保護する団体や後継者問題についても検討していきたい。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	R2参考
		A	A	B	B	B	B

評価委員意見（参考：令和2年度の評価意見）

・「野辺地町のハッチョウトンボ」が有名になることで、保護という面が難しくなることも考えられるので、慎重に対応を考えてほしい。 ・絶滅危惧種という特別な存在に気付き、直接観察できるのは、小学生の活動として非常に有効で評価できる。 ・ハッチョウトンボを保護するボランティアグループ等（ハッチョウトンボを守る会等）があれば、見守りしながらの活動内容や観察記録を発表したりできたら良いなと思いました。 ・すごく良い事業であるので、ホームページでの紹介等、積極的に行ってほしいが、ハッチョウトンボが絶滅危惧種ということを頭に入れ、守りながら伝えていくという方法をとってほしい。
--

評価委員意見（令和3年度）

・本事業について新聞でも紹介されていて、町外にも貴重なハッチョウトンボ生息地として知られるようになっていっていると思います。生息環境保護を前提に継続してほしいです。 ・地元に絶滅危惧種が存在していることを子どもの時から知り、学び、将来見守る人財として育てほしい。 ・トンボの場所の確保をよろしく願いたい。ぜひ継続をしてほしい。

事務事業評価シート

施 策 名	一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	町文化賞、教育委員会文化賞の表彰	担当者名	貝塚千佳

事業の目的・内容	文化活動において優れた業績をあげ、町の文化振興に寄与した方を表彰する。		
事業の対象	町民一般		
事業費	年 度	令和 2 年度決算	令和 3 年度決算
	金 額	41 千円	86 千円
			令和 4 年度予算
			150 千円

事業の実績・成果等 (数値)	●授与式 3月10日 16時～ 野辺地町役場 第3会議室 ※新型コロナウイルス感染症対策のため授与式を縮小し、開催した。 (文化賞・スポーツ賞の2部制、来賓無し、町文化賞受賞者のみ出席) ○町文化賞 ①文化功労賞(個人) 1名 ②文化賞(個人) 1名 (団体) 1団体 ③文化指導者賞(個人) 2名 ④文化奨励賞(個人) 5名 ○教育委員会文化賞 ①文化優秀賞(個人) 44名 (団体) 1団体		
-------------------	--	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☒ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	・ コロナ禍に対応した式典の開催方法を検討し、事前準備を進める。 ・ 関係団体との連携を図り、事業を周知し、受賞者漏れを防ぐ。		
事業の方向性	☒ さらに重点化する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	木村委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	R2参考
		A	A	B	A	A	A

評価委員意見(参考:令和2年度の評価意見)

・受賞基準の見直しを怠ることなく、選考基準に則って進めてほしい。 ・日頃の努力が報われて評価され表彰されるのは、本人のみだけでなく関わりがある人みんなが励みになり、明日からのさらなる活動につながると思う。 ・今後も継続を希望します。 ・頑張れば成果があるという目標になるので、これからもぜひ継続してほしい。
--

評価委員意見(令和3年度)

・担当課の評価のとおり。今後も継続してほしい。 ・コロナ禍でも工夫して開催継続をお願いしたい。
--

事務事業評価シート

施 策 名	一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	馬門公民館教養講座	担当者名	貝塚千佳

事業の目的・内容	趣味と教養を高めるとともに、仲間づくりのため開催する。 開講時期 6月～11月 (※例年 5月～10月)		
事業の対象	成人		
事業費	年度	令和2年度決算	令和3年度決算
	金額	45千円	45千円

事業の実績・成果等 (数値)	・講座内容(人数) ダンス(7人)、着付け(8人)、手芸(5名) ・受講料 1講座1,500円 ・講師謝金 1人15,000円 ※新型コロナウイルス感染症の拡大のため、開講式が例年より1カ月ほど遅れたほか各講座の発表の場である馬門公民館文化祭と3月開催の開講式が中止となった。
-------------------	---

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☒ 十分できている	☐ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない	

自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている
評価説明及び 考察、課題	・参加者の意欲は高く、講座期間外にも自主的に活動が行われている。 ・学びの成果を発表する機会を数多く設けられるよう努めていく必要がある。	
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了	

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	R2参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見(参考:令和2年度の評価意見)

・コミュニティの場として機能している。

・コロナ禍で活動がなかなかできなくて大変な1年だったと思います。意欲を持って参加されている方が多いので、発表の場がなくて本当に残念です。

評価委員意見(令和3年度)

・有意義な活動を参加者ができているようなので、今後も継続してほしい。

・馬門地域のコミュニティが活発なのは、お互いが支えあって活動しているからのように思われる。今後も心豊かな場所づくりとして継続してほしい。

事務事業評価シート

施 策 名	次世代を担う青少年の育成	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	子ども会事業	担当者名	石田 晃

事業の目的・内容	子どもたちの健やかな成長と青少年の育成を目的として実施。 ・子ども会の加入状況 幼児2名、小学生51名、中学生1名、高校生2名 計56名			
事業の対象	子ども会 会員			
事業費	年 度	令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算
	金 額	50 千円	88 千円	185 千円

事業の実績・成果等（数値）	・活動体験（全3回） ①令和3年11月7日 場所：中央公民館 子ども：7名 大人：9名 計：16名 プラスチックキーホルダー作り ②令和3年11月28日 場所：中央公民館 子ども：13名 大人：15名 計：28名 まがたま作り ③令和3年12月5日 場所：中央公民館 子ども：10名 大人：7名 計：17名 万華鏡作り、ラダーゲッター			
---------------	---	--	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	令和2年度は活動休止としたが、一部の活動を再開できた。 少子化により加入子ども会数が減少しているとともに、子どもたちの体験活動の機会が減少していることから、地域における子ども会活動の役割が一層必要とされているため、子ども会のイベントの運営方法や今後の子ども会の在り方について役員会などで協議する必要がある。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	R2参考
		B	A	B	B	B	B

評価委員意見（参考：令和2年度の評価意見）

・コロナ禍においては幼・小・中・高が集まることは無理なので、小学生対象とか中学生対象とかコンパクトなイベントを考えることも必要なのではないかな。 ・子ども会に関わっている人達が、子どもを第一に忙しい中頑張っていて、子どもたちも思い出となる活動ができています。 ・コロナ禍で子ども会の事業を進めるのは少子化も重なり、協力して下さる方々の苦勞が分かります。今後も子どもたちの成長を見守りながら今後も工夫しつつ、活動を継続してほしいと思います。 ・今後、ふれあい通学合宿を子ども会事業にしてはどうか。 ・子ども会の活動がなかなか町民に見えていないのかもしれない。地味ではあるが確実に活動しているので、その様子をなんとか町民の目に触れさせてあげたい。
--

評価委員意見（令和3年度）

・コロナ禍で大変な中活動内容を工夫して活動できたので良かったです。今後も継続してほしい。 ・将来の人財づくりの大切な場となっているので、基本的なことを忘れずに、常に原点に戻り、周知活動等をしていく必要があると思う。 ・子ども会の存在を広く町民の方々に周知してほしい。
--

事務事業評価シート

施 策 名	次世代を担う青少年の育成	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	在学青年ボランティア会	担当者名	米内山 周大

事業の目的・内容	高校生（野辺地高校・野辺地西高校）を対象としてボランティア意識を醸成することを目的として活動を実施する。		
事業の対象	高校生		
事業費	年 度	令和 2 年度決算	令和 3 年度決算
	金 額	0 千円	11 千円
			令和 4 年度予算
			15 千円

事業の実績・成果等（数値）	一人暮らしの高齢者宅の除雪作業を通して、地域交流を図ると共に、高校生のボランティア精神の育成を目的として実施予定だったが、直前で県内において新型コロナウイルス感染症が増え中止となりました。		
---------------	--	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	・ 高校生の意見を取り入れ、高校生が活躍できる場や内容を検討し、事業を展開していきたい。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	R2参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見(参考:令和2年度の評価意見)

・ 事業の目的は大変よいものである。高校生のアイデアを取り入れて続けてほしい。 ・ この事業については、大事な活動の1つと思います。この活動も新聞社へ取材を依頼し、活躍していることを広めてほしいです。 ・ コロナ禍で活動ができなくて残念でした。今後もコロナ禍での活動ができない場合は、ボランティアの在り方などを学ぶ場があっても良いと思います。ボランティアに対する知識も増し、意識が高まると思います。
--

評価委員意見(令和3年度)

・ 高校生のボランティア精神や自主性を醸成できる活動なので、今後も継続してほしい。 ・ 高校生としての意識がこの活動を通して向上し、社会へ出るための一歩となっていると思う。今後もいろいろな活動内容を工夫しながらの継続を望む。 ・ 高校生の方々自身の将来にも意義があるような町行政当局の支援も検討してほしい。
--

事務事業評価シート

施 策 名	地域を支える人材の育成	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	生涯学習大学	担当者名	石田 晃

事業の目的・内容	体系的な高度な学習内容の講座を開設し、町民の生涯学習及び社会参加活動による生きがいの創造を推進するとともに、学生が地域活動のリーダーとして活躍することを目指し実施した。 平成5年度事業開始し、29年目となる。		
事業の対象	成人（年間登録制）		
事業費	年度	令和2年度決算	令和3年度決算
	金額	71千円	74千円
			95千円

事業の実績・成果等（数値）	令和3年9月～12月 18:00～19:30 会場：中央公民館 ホール 受講料 2,000円 受講者数 35名 延べ 116名 ①「墓石が語る江戸時代 大名・庶民の墓事情」弘前大学 人文社会科学部 関根 達人氏 ②「血圧と塩」 mela rosa(メラローザ) 管理栄養士 奥山 綾乃 氏 ③「大人のたのお金と生活の知恵」青森県金融広報委員会 金融広報アドバイザー 中田 鶴子 氏 ④「科学報道の嘘を見分ける 一詐欺的報道に騙されないために」北里大学獣医学科公衆衛生学 教授・獣医学部学部長 上野 俊治 氏 ⑤「物事の”捉え方”と”伝え方”でより輝く人生に」開花アカデミー メンタルトレーナー 小比類巻 香 氏 ⑥「自分の体のサインを知って、より元気になりましょう」青森中央学院大学 看護学部 教授 三國 裕子 氏		
---------------	--	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☒ 十分できている	☐ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	・幅広い世代（男性／若年層等）へ学習の場を提供するため、講師選定を工夫していきたい。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	木村委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	R2参考
		A	A	A	A	B	A

評価委員意見(参考:令和2年度の評価意見)

・新規参加者がいるので、全ての人に学ぶ機会が開かれている事業は継続する価値がある。 ・町民の学習の場として、目的を十分達成していると思う。講座内容については、実用性があるものも良いと思う。例えばスマホの使い方等。 ・毎年工夫して講座内容が豊富です。新規参加者も増加し、広い公民館ホールでの学習もソーシャルディスタンスが守られ安心して学ぶ場を作ってくださるのは良いと思います。今後も継続してほしいです。
--

評価委員意見(令和3年度)

・学習内容も充実しているように思います。講座内容について毎年苦勞すると思いますが、今後も継続してほしい。 ・参加者が高齢化しているので、若い人への参加を促すような広報を望む。 ・講師選定等は大変だろうが、町民の方々のニーズに合わせて工夫してほしい。
--

事務事業評価シート

施 策 名	学校・家庭・地域の連携による社会全体の教育力の向上	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	家庭教育推進事業	担当者名	貝塚千佳

事業の目的・内容	多くの保護者が集まる保護者会や、参観日等の機会を活用して、幼稚園、保育園、小中学校の要望に応じて家庭教育支援のための学習会を提供する。		
	参加者数 約 8 2 名（園児・児童含む）		
事業の対象	幼児・児童・生徒とその保護者（町内保育所、幼稚園、小・中学校）		
事業費	年度	令和 2 年度決算	令和 3 年度決算
	金額	20 千円	24 千円
			令和 4 年度予算
			74 千円

事業の実績・成果等（数値）	①7月8日（木）馬門小学校「バルーンアート教室」キングセブンスバルーン 上村みさこ氏 ②12月17日（金）カトリック幼稚園「トランポリン教室」アクシススポーツクラブ 玉山貴宏氏		
---------------	---	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☒ 十分できている	☐ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	・家庭教育を学ぶ機会を絶やさないように、幼稚園、保育園、小中学校と連携し、継続していく必要がある。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	R2参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見(参考:令和2年度の評価意見)

・これからも継続して実施していく必要がある大事な事業だと思う。

・家庭教育はとても大切です。何よりも「気付き」を与えてくれます。まず親が心満たされ、安心して子どもを育てる勇気を与えるチャンスの1つだと思います。工夫しつつ今後も継続を希望します。

評価委員意見(令和3年度)

・担当課の評価のとおり。今後も継続してほしい。

・この事業を通して様々な活動を知り、豊かな家庭となるきっかけとなしてほしい。

・家庭教育力向上のための授業となるように、さらに工夫して実施してほしい。

事務事業評価シート

施 策 名	学校・家庭・地域の連携による社会全体の教育力の向上	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	いのちのお話出前講座	担当者名	貝塚 千佳

事業の目的・内容	町内3小学校合同で4学年とその保護者を対象に、男女の体の違いや妊娠・出産の知識を正しく伝えることで性と心の教育及び親子の絆を深めてもらうための講座を実施。 ※健康づくり課を通して県より補助を受けている（平成28年度～）		
事業の対象	町内4学年児童とその保護者		
事業費	年度	令和2年度決算	令和3年度決算
	金額	0千円	112千円

事業の実績・成果等（数値）	※令和2年度延期分を含め、令和3年度は小学4・5年生を対象に2回実施。 ※新型コロナウイルス感染症対策のため保護者及び協力者の参加見送り。 ①10月6日（水） 若葉小学校 体育館 参加者：若葉小学校4年生 37名、若葉小学校5年生 53名 ②10月12日（火） 野辺地小学校 体育館 参加者：野辺地小学校4年生 34名、野辺地小学校5年生 32名 馬門小学校4年生 4名、馬門小学校5年生 4名		
---------------	---	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	☒ 十分できている	☐ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☒ 達成できている	☐ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	・保健の授業だけではなく、外部の講師からの詳しい説明や実際に胎児の心音を聞くほか、保護者から児童への手紙を通して、命に対する理解を深め、出産時やいのちの大切さを振り返る良い機会となっている。		
事業の方向性	☒ さらに重点化する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	木村委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	R2参考
		A	A	A	A	A	A

評価委員意見（参考：令和2年度の評価意見）

・令和2年度は中止となったが、いのちの大切さを実感できるよい講座なので、続けてほしい。 ・親にも子どもにも、命について真剣に向き合う良い機会ができています。

評価委員意見（令和3年度）

・担当課の評価のとおり。今後も継続してほしい。 ・日本における性教育は海外と比べると大変遅れているのが現状である。日本中が良い性教育ができることを願いつつ、この事業の継続を望む。 ・親・子、ともに心に響く事業であり、継続してほしい。
--

事務事業評価シート

施 策 名	社会教育推進のための基盤整備	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	社会教育団体の支援	担当者名	米内山 周大

事業の目的・内容	社会教育における青少年健全育成及び文化活動等を推進するため、団体が行なう事業について、補助する。また、団体事業を支援する。			
事業の対象	社会教育団体			
事業費	年度	令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算
	金額	429 千円	123 千円	279 千円

事業の実績・成果等 (数値)	団体補助金 ①在学青年ボランティア会 11,186円 ②子ども会育成連絡協議会 69,078円 ③町連合PTA 42,058円			
-------------------	--	--	--	--

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☒ 十分できている	☐ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☒ 達成できている	☐ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び 考察、課題	・各団体活動者の無理のない世代交代が必要と思われる。 ・各団体の活動を維持、発展させるために現状の補助は今後も必要である。		
事業の 方向性	☒ さらに重点化する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	木村委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	R2参考
		A	A	A	A	A	A

評価委員意見(参考:令和2年度の評価意見)

・十分良い事業だと思う。

・コロナ禍での活動が難しい1年でしたが、今後も活動を続けてほしいです。

・各団体にしたら貴重な補助だと思うので、更なる継続を希望する。

評価委員意見(令和3年度)

・担当課の評価のとおり。今後も継続してほしい。

・支援は大変良いことだと思う。今後も継続を望む。

・各団体の成果や実践内容をもっと広く周知してほしい。

事務事業評価シート

施 策 名	社会教育推進のための基盤整備	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	生涯学習カレンダーの発行	担当者名	貝塚 千佳

事業の目的・内容	学校行事やスポーツ団体が主催する行事、町が主催する行事等を掲載し、町民への情報提供を行う。		
事業の対象	町民		
事業費	年 度	令和 2 年度決算	令和 3 年度決算
	金 額	151 千円	3 千円
			令和 4 年度予算
			3 千円

事業の実績・成果等 (数値)	平成30年度まで作成していた2つのカレンダー（コミュニティカレンダー、スポーツカレンダー）の内容を1つにまとめたカレンダーを作成。印刷業者に委託し、作成した壁掛けカレンダーを每户配布していたが、令和3年度より経費削減のため、担当課にて作成したポスター型カレンダーに変更し、下記の通り周知した。		
	6月発行 ○町内公共施設へ掲示・設置 ○町HPへ掲載 →「教育・文化・スポーツ」>「文化・生涯学習」>「生涯学習カレンダー」		

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	☐ 十分必要である	☒ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	☒ 十分できている	☐ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☐ 達成できている	☐ おおむね達成できている	☒ 達成できてない
自己評価	C	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い	
評価説明及び考察、課題	・限られた予算内で各行事の情報をわかりやすく多くの人に提供できる方法を検討する。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	R2参考
		B	C	B	B	B	B

評価委員意見(参考:令和2年度の評価意見)

・発行部数が少ないためか、今ひとつ見かけることが少ない。もう少し、町民及び児童生徒が見られるように、部数を増やすことはできないものか。 ・確認しやすいだけでなく、内容についても分かりやすいを両立して、継続してもらいたい。 ・町ホームページへ掲載しているほかに、希望者にコピーしてくれたらと思う。 ・できれば町民にも配布してほしい。

評価委員意見(令和3年度)

・ポスター型カレンダーについて、大型商業施設にも掲示をしてほしい。少しでも多くの人の目に留まると発行の意義がある。 ・財政難で町民への配布は無理だと思うが、ホームページを見ることができない町民でも目に入るような工夫がほしい。例えば各学校や施設（公民館等）にカレンダーを貼るなどしてほしい。 ・必要なものなので、他の広報物とのタイアップ等は検討できないか。
--

事務事業評価シート

施 策 名	生涯スポーツの普及・振興	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	町スポーツ賞、教育委員会スポーツ賞の表彰	担当者名	貝塚 千佳

事業の目的・内容	スポーツ競技大会において優れた成績をおさめた者を表彰し、野辺地町のスポーツの普及、振興を促進することを目的とする。		
事業の対象	野辺地町表彰規則による（町民他）		
事業費	年 度	令和 2 年度決算	令和 3 年度決算
	金 額	382 千円	316 千円
			令和 4 年度予算
			426 千円

事業の実績・成果等（数値）	●授与式 3月10日 16時30分～ 野辺地町役場 第3会議室 ※新型コロナウイルス感染症対策のため授与式を縮小し、開催した。 ○町スポーツ賞 ①スポーツ功労賞（個人）1名 ②スポーツ大賞（個人）1名 ③スポーツ賞（個人）4名 ④スポーツ優秀選手賞（個人）44名（団体）5団体 ○教育委員会スポーツ賞 ①スポーツ奨励賞（個人）3名（団体）5団体		
---------------	--	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☒ 達成できている	☐ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	・ コロナ禍に対応した式典の開催方法を検討し、事前準備を進める。 ・ 関係団体との連携を図り、事業を周知し、受賞者漏れを防ぐ。		
事業の方向性	☒ さらに重点化する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	木村委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	R2参考
		A	A	A	A	A	A

評価委員意見(参考:令和2年度の評価意見)

・日頃の努力が報われて評価され表彰されるのは、本人のみだけでなく関わりがある人みんなが励みになり、明日からのさらなる活動につながると思う。 ・努力が報われる事業なので、更なる継続を望む。
--

評価委員意見(令和3年度)

・担当課の評価のとおり。今後も継続してほしい。 ・コロナ禍でも工夫して開催継続をお願いしたい。
--

事務事業評価シート

施 策 名	生涯スポーツの普及・振興	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	健康ウォーターマラソンスタンプラリーの開催	担当者名	野坂 鳳真

事業の目的・内容	健康増進及び運動不足を解消し、町民の健康維持の一助となることを目的とする。野辺地町から仙台市までの距離（４００キロ）を完歩することを目指し、自分のペースでプールの中を歩く。配布しているスタンプカードに当日歩いた距離を記入し、スタンプを押して記録する。実施期間終了後に最終結果を掲載した完歩歩証を配布し、上位５位に施設無料券を贈呈する。なお、参加者は施設使用料が４１０円から２１０円になる。		
事業の対象	２０歳以上の町民		
事業費	年度	令和 ２ 年度決算	令和 ３ 年度決算
	金額	22 千円	0 千円

事業の実績・成果等（数値）	期 間：令和３年７月１５日（木）～令和４年１月２３日（日） 場 所：野辺地町屋内温水プール「サンビレッジのへじ」 参加者数：73名 ※３月１３日（日）まで実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ１月２４日より、施設閉館としたため、実質的に上記の期間での実施となった。
---------------	---

事業の評価（自己評価）	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☐ 十分必要である	☒ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☒ 十分できている	☐ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価		B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている
評価説明及び考察、課題		・ 30代から60代まで幅広い世代がまんべんなく参加している。 ・ 50回以上参加し運動を習慣化している方がいる一方で、様々な事情があると思われるが、数回の参加で終わっている方も少なくないことから、継続的にウォーターマラソンに参加できる仕組みが必要。 ・ 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、参加者の減少が見られる。 他市町村の事業も参考にして、改善策を検討していく。	
事業の方向性		☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了	

事務評価委員の評価

総合評価	A	木村委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	R2参考
		B	A	A	A	B	A

評価委員意見(参考:令和2年度の評価意見)

・健康増進にプールの活用は最適である。参加者数もますますで、幅広い年齢層の参加なので、今後も継続してほしい。
・青森県は短命県であるので、町としての取組は、町民の健康づくりに有効である。
・コロナ禍でも継続していてすごいと思います。健康に気遣う意識がとても高い活動だと思っています。今後も継続を希望します。
・町にはプールも運動公園もあり、健康づくりにはもってこいだと思うが、せっかくの良い企画がなかなか町民に浸透しないのはどこかに問題があるのだと思うので、毎年同じではなく工夫をして更なる人数の確保を望む。

評価委員意見(令和3年度)

・担当課の評価のとおり。今後も継続してほしい。
・町内にプールがあるので、どんどん活用できるよう色々な工夫をして楽しくプールに入り、健康な人が町中に溢れたらすごいなと思う。今後も継続を望む。
・プールの利活用について、町民の方々にもっとPRするように工夫してみてはどうか。

事務事業評価シート

施 策 名	生涯スポーツの普及・振興	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	青森県民スポーツレクリエーション祭参加	担当者名	森 田 明

事業の目的・内容	広く県民にスポーツ・レクリエーション活動の場を提供し、県民一人ひとりの活動への参加意欲を喚起するとともに、県民の生涯を通したスポーツ・レクリエーション活動の実践を図り、健康で活力ある生活に資することを目的としている。		
事業の対象	野辺地町の各種スポーツ、レクリエーション団体が参加		
事業費	年度	令和 2 年度決算	令和 3 年度決算
	金額	22 千円	24 千円
			令和 4 年度予算
			36 千円

事業の実績・成果等（数値）	第 1 4 回青森県スポーツ・レクリエーション祭への参加 令和 3 年 6 月～1 1 月に 26 種目を分散開催 参加競技（3 団体 2 5 名参加） ①グラウンド・ゴルフ競技 9 名 ②マスターズ陸上競技 2 名 ③レクリエーションダンス競技 1 4 名		
---------------	--	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	・生涯スポーツについては、各団体において活動に積極的に参加しており非常に良い方向に進んでいると思われる。 ・この事業目的により、参加者は、楽しんで参加している。 ・参加団体は前年度と比較して1団体、参加人数は2名増加した。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	R2参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見（参考：令和2年度の評価意見）

・コロナ禍においても、苦勞して実施していることが伺える。 ・短命県である青森県には、大事な事業の 1 つと思う。参加人数が減少している様なので、広報活動で増やしてもらいたい。 ・全国どこの地方でも少子高齢化が進む中、生涯スポーツの普及に対してどんどん活動を進めている地域の現在を知りたいです。もっともっと町民に知ってもらうチャンスがあればと思います。祭への参加の増加を望みます。 ・コロナのため参加人数が減少したのはしょうがないが、もう少しこの事業を町民に知ってもらう広報を行った方がよいのではないか。
--

評価委員意見（令和3年度）

・今後も継続してほしい。参加者が増える工夫をしてほしい。 ・今度も周知を続けながら、参加者の増加を進めていってほしい。 ・スポーツレクリエーションに関連する団体との連携をさらに進めるように働きかけてみてはどうか。
--

事務事業評価シート

施 策 名	生涯スポーツの普及・振興	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	学校体育施設の開放促進	担当者名	森 田 明

事業の目的・内容	スポーツ活動の普及・振興を目的として町内小・中学校の体育館、校庭を児童・生徒が使用していない時間に開放する。 年間で使用する団体へは一年毎に申請書を提出してもらうこととしている。		
事業の対象	町民		
事業費	年度	令和 2 年度決算	令和 3 年度決算
	金額	0 千円	0 千円

事業の実績・成果等 (数値)	令和3年度 年間利用 利用団体 17 団体		
	利用回数		
	若葉小学校	2 2 8 回	
	野辺地小学校	3 3 1 回	
	馬門小学校	3 4 回	
	野辺地中学校	7 8 回	
	計	6 7 1 回	

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び 考察、課題	・多くの団体が体育館を利用し、活動が行われている。 ・利用マナーについては改善されてきていると感じているが今後も注意を促していきたい。 ・各団体が持っている鍵についても厳重に保管、管理するように注意を促していきたい。		
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	R2参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見(参考:令和2年度の評価意見)

・野小の体育館を使用している団体が、卒業式近くに大掃除を行ってくれた。非常に有難かった。

・健全で有効活用されている様なので、今後も継続してほしいと思います。

・継続を希望します。

・これからも継続してお願いします。

評価委員意見(令和3年度)

・利用する団体へマナーや鍵の管理等についてパンフレット等を配布し、遵守するように周知をお願いします。

・町内の施設が各団体に利用されていることは非常に良いと思う。今後も正しく利用してもらい、大切に使ってほしい。

・利用・活動場所・全体（駐車場含む）に対するマナーの向上を目指したい。

事務事業評価シート

施 策 名	生涯スポーツの普及・振興	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	地域総合型スポーツクラブの検討	担当者名	石田 晃

事業の目的・内容	当町の各スポーツ団体との連携を強化し、地域住民にも理解を求め、それぞれが有する課題等の共有、解決を図りながら、町のスポーツの方向性を検討する。		
事業の対象	町民全般		
事業費	年 度	令和 2 年度決算	令和 3 年度決算
	金 額	0 千円	0 千円

事業の実績・成果等 (数値)	- 平成28年度～年度末に地域総合型スポーツクラブに関する研修会を開催。 - 平成29年度～新たな試みとして、高齢者のスポーツに関するニーズを調査するため「カスタムメイド健康づくり事業」（県事業）を活用、11月から2月に全4回の健康体操講座を開催。 - 平成30年度～南部町、田子町の実施状況を視察研修。それぞれの運用方法を確認。 - 令和3年度、県のアドバイザーからクラブ設立に向けた情報収集		
-------------------	--	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☐ 十分必要である	☒ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☐ 達成できている	☐ おおむね達成できている	☒ 達成できてない
自己評価	C	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い	
評価説明及び考察、課題	・ 成果が上がっているとは言えない状況であります。 ・ 設立に向けて引き続き調査、検討を継続していくこととする。		
事業の方向性	☒ さらに重点化する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	C	木村委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	R2参考
		C	C	C	C	C	C

評価委員意見(参考:令和2年度の評価意見)

- 総合ではなく、見方を変えて高齢者に特化するなど、見直して検討してはいかがでしょうか。 - 検討が必要。明確な目的がはっきりすれば進む道しるべを見ながら進めると思います。

評価委員意見(令和3年度)

- 計画的に進めてほしい。 - 他での活動等を勉強しつつ、今後も検討の継続を望む。 - スポーツ関連団体と連携し、まずは町主導で代表者会議を開いてみてはどうか。
--

事務事業評価シート

施 策 名	生涯スポーツの普及・振興	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	水泳教室開催	担当者名	野坂 鳳真

事業の目的・内容	幼児・児童を対象に、安全かつ楽しく水に慣れること及び泳力技術向上を目的に全6回にわたる水泳教室を開催。 講師はウィング青森より派遣されている。 参加料 幼児1, 500円 児童1, 500円 募集定員人数 幼児 16名 児童 26名			
事業の対象	幼児・児童			
事業費	年度	令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算
	金額	260 千円	205 千円	410 千円

事業の実績・成果等 (数値)	令和3年度実績 (毎週土曜日実施) 実施期間 6/5～12/18 初級講座 幼児6回 小学生6回 中級講座 幼児6回 小学生6回 計 12 回 ※上級講座も予定されていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の為、中止とした。 申込人数 各講座 幼児16名 児童26名			
-------------------	--	--	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	・令和元年度は講師を2名体制から3名体制へ変更するなど、これまで以上に泳力向上を図れる内容に変更した結果、泳力の高いグループは最終的にバタフライを習得するほど泳力が向上し、内容変更の成果が見られた。 令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響等により令和元年度の実施方法を継続することができなかった。 ・新型コロナウイルス感染症対策との兼合いが必要であるが、募集人数を拡充出来るよう実施方法を検討していく。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	木村委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	R2参考
	B	A	A	A	A	A	A

評価委員意見(参考:令和2年度の評価意見)

・どのようにして参加者を選んでいるのかは不明だが、毎年募集人数が埋まるほど希望者が多いということ。講師も充実している。 ・見違える程の泳力向上もあり、今後も期待します。 ・継続を希望します。 ・何度かプールで指導の様子を見たが、子どもたちが本当に楽しんでプールで泳いでいたので、これから先も継続してほしいです。
--

評価委員意見(令和3年度)

・参加人数の上限を増やしてほしい。 ・子どもたちがどんどん利用できるイベント等を考えてほしい。 ・参加者をもっと増やせるように中級程度の幼児・児童が利用しやすい環境整備(あと2コースくらい底上げする等)の検討を要望する。
--

事務事業評価シート

施 策 名	青少年スポーツの振興	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	スポーツ少年団への支援と育成	担当者名	貝塚千佳

事業の目的・内容	子どもがスポーツ活動を行いやすい環境をつくり、スポーツを通して団体行動や仲間づくりに励む場を提供する。 〈令和3年度登録状況〉 団数 10団 登録者数 170名 指導者数 39名		
事業の対象	幼児～高校生、指導者		
事業費	年度	令和2年度決算	令和3年度決算
	金額	600千円	372千円

事業の実績・成果等 (数値)	町スポーツ少年団の事務局として、団員の登録申請や各スポーツ少年団大会申込を行う。 また、各単位団に大会参加料や活動費に充ててもらうため、補助金を交付する。 ・団体割 …町スポ少へ登録している団体へ助成 ・団員割 … 〃 人数によって助成 ・認定員講習会参加費…資格取得のための講習会に参加した方への助成
-------------------	---

事業の評価（自己評価）	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☒ 十分できている	☐ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない	
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	・平成30年度から令和2年度まで町民応援事業として各単位団への補助金額が増額していたが、令和3年度より従来の金額となった。 ・スポーツ少年団の指導者制度が変更となり、指導者資格取得に係る金額が増加した。		
事業の方向性	☒ さらに重点化する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	R2参考
		B	B	B	B	A	B

評価委員意見(参考:令和2年度の評価意見)

・スポーツ少年団への支援は、青少年健全育成に直結している。
・子どもがスポーツと向き合い、仲間と向き合い、指導者へ敬意を払い、心身共に育まれると思っています。
・町民に活動が見られる場があれば、もっと知る人が増加すると思います(紙媒体でも何か工夫がほしい)。
・ありがたい事業です。頑張る子どもたちを資金面で支えてもらい、各少年団も頑張りがいがあると思います。

評価委員意見(令和3年度)

・担当課の評価のとおり。今後も継続してほしい。
・未来ある子どもたちへの支援を今後も続けてほしい。
・指導者の資質・能力・向上を目的とした支援の在り方について検討してほしい(青少年の健全育成に資する活動になっているかの観点も含めて)。

事務事業評価シート

施 策 名	青少年スポーツの振興	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	町営球場開設記念兼ライオンズクラブ旗争奪中学校野球大会の支援	担当者名	野坂 鳳真

事業の目的・内容	野辺地中学校をはじめ、近隣町村の中学校を招待し大会を開催する。 野球競技を通じて、各校の交流を図るとともに、チームの団結力及び競技力向上を目指す。		
事業の対象	中学生		
事業費	年度	令和 2 年度決算	令和 3 年度決算
	金額	0 千円	0 千円
			令和 4 年度予算 10 千円

事業の実績・成果等 (数値)	新型コロナウイルス感染症拡大により中止		
-------------------	---------------------	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☐ 十分必要である	☒ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☒ 十分できている	☐ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	・コロナにより中止となったが、8校に案内を行い、6校（4団体）の参加予定であった。 ・参加団体数に大きな減少がみられないため、今後も継続して開催する予定だが、年々野球部が減少しているため事業の見直しが必要。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	R2参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見(参考:令和2年度の評価意見)

・参加希望が7校あるので、継続した方がよいと思うが、今後減るのであれば、どこかで廃止せざるを得ないと思う。 ・部活動の活性化や意義という点で活躍できる場が必要と思う。 ・コロナ禍での中止。収まったらまた活動が活発になると良いです。 ・参加希望するチームがあるのであれば継続してほしい。練習の成果を発揮できる場所を減らしてほしくないです。

評価委員意見(令和3年度)

・担当課の評価のとおり。今後も継続してほしい。 ・持続可能な大会か？という見直しもそろそろ必要ではないか。
--

事務事業評価シート

施 策 名	青少年スポーツの振興	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	青森県小学生スキー大会の開催	担当者名	野坂 鳳真

事業の目的・内容	スキーを通じて児童の健全育成及びスキー技術や資質の向上を目標とし、スキーの町、野辺地町を全県的に広報しながら、実行委員会を中心に町をあげて応援、実施するものである。		
事業の対象	県内小学生 3～6 年		
事業費	年度	令和 2 年度決算	令和 3 年度決算
	金額	1,380 千円	201 千円
			令和 4 年度予算
			1,231 千円

事業の実績・成果等（数値）	期 日：令和4年2月5日（土）、6日（日）		
	場 所：国設野辺地まかど温泉スキー場		
	競技種目：距離競技、大回転競技、リレー競技		
	※新型コロナウイルス感染症のため、全種目中止とした。		
	参 加 校 31校 参加人数 83名		
	12/6 第1回実行委員会		
	1/27 第2回実行委員会		
	3/14 第3回実行委員会		

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	■ 十分必要である	□ おおむね必要である	□ あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	■ 十分寄与する	□ おおむね寄与する	□ あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	□ 十分できている	■ おおむねできている	□ できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	□ 達成できている	■ おおむね達成できている	□ 達成できてない
自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	・ 近年は10名前後の減少幅で推移しており、競技方法等も検討しながら実施していきたい。 ・ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響をうけリレー競技と距離競技個人を1日にまとめて実施した。運営する側としては厳しい部分もあるが、予算の節約につながっている部分もあると思われるので、選手やコーチの意見も参考に今後の運営を行っていきたい。		
事業の方向性	■ さらに重点化する □ 見直しのうえ継続する □ 事業の縮小を検討する □ 休止、廃止を検討する □ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	R2参考
		B	A	B	A	B	A

評価委員意見（参考：令和2年度の評価意見）

・野辺地町の子どもだけでなく、他市町村の子どもたちも期待しているので、無くせない事業だと思う。 ・野辺地町のスポーツとして、青森県内でもしっかりと認識されている。大事な事業だと思う。 ・スキー発祥の地としての誇りをもってぜひ継続してほしいです。支えてくれる方々があつての大会だと思うので、そこはなんとか町に確保をお願いしたい。

評価委員意見（令和3年度）

・頑張っている子どもたちの大事な大会の一つなので、今後も継続してほしい。 ・コロナ禍での工夫が必要と思う。雪国でしかできないスキーが少しでも子どもたちが楽しみながら参加できたらと思う。 ・令和3年度はコロナ対応で仕方がないが、令和4年度の見通しは野辺地町として公的に、明確に、迅速に方針等を示す必要がある。

事務事業評価シート

施 策 名	競技スポーツの推進	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	青森県民駅伝競走大会選手強化支援	担当者名	米内山 周大

事業の目的・内容	県主催の市町村対抗駅伝競走大会である。 各学校の陸上部、スキー部顧問、アスリートクラブ等で実行委員会を組織し、参加対象者の小学生、中学生、高校生、一般選手を育成して、町選手団として大会に臨む。			
事業の対象	小学生・中学生・高校生・一般			
事業費	年 度	令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算
	金 額	2 千円	139 千円	735 千円

事業の実績・成果等 (数値)	期日：令和3年9月5日（日）青森市 ※コロナにより中止 結果：総合の部 一位 町の部 一位 第1回実行委員会 5/26 選手選考会 7/4, 11 実施 青森県教育委員会 中止決定通知 7/14 実行員及び代表選手等に中止通知書発送 7/26
-------------------	--

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☐ 十分必要である	☒ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☒ 十分できている	☐ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない	
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び 考察、課題	・選手候補者の募集や選手選考等において早めの行動により円滑に行えた。 ・補欠選手、監督推薦枠選手、小学生選手に対してのサポート体制が整いつつある。 ・大会は中止となったが、実行委員会、選手事前調査等を行い次年度につながる関係者との連携が図られた。		
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	R2参考
		B	B	B	B	A	B

評価委員意見(参考:令和2年度の評価意見)

・2年連続の大会中止は本当に残念。町陸上スポ少の子どもにとっては大変励みになるので、支援を続けてほしい。
・駅伝競走は誰にでも親しまれている大会で、成績が良ければ町民みんなが喜ぶと思うので、大事な事業です。
・コロナ禍での中止。毎年参加・協力してくださる方々には、コロナ禍が収まったらぜひまた活躍してほしいと望んでいます。
・大会がなくなり子どもたちの夢は消えてしまったが、選手候補者に選ばれた子どもにとっては、これからの活動の力になったと思う。

評価委員意見(令和3年度)

・コロナ禍での中止で残念ですが、大会で活躍し野辺地町をアピールするためにも、継続してほしい。
・町ぐるみで応援できる大会なので、今後も継続を望む。
・小中学生への対応は学校だけでなく、保護者とのやりとりを詳しく具体的に行ってほしい。

事務事業評価シート

施 策 名	競技スポーツの推進	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	町スポーツ協会活動支援	担当者名	貝塚 千佳

事業の目的・内容	当町のスポーツ振興の中核を担うスポーツ協会を支援し、町民の体力・競技力を育てるとともに、スポーツにより町の活性化に資するものである。 令和3年度 加盟団体 20		
事業の対象	一般町民		
事業費	年度	令和 2 年度決算	令和 3 年度決算
	金額	560 千円	450 千円
			令和 4 年度予算 700 千円

事業の実績・成果等（数値）	○第44回上北郡総合体育大会参加支援 主会期：令和3年5月29日（土）、30日（日） 会場：野辺地町ほか ※大会開催地として町スポーツ協会と連携し開催に向けて準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止 ○第75回市町村対抗青森県民体育大会参加支援 主会期：令和3年7月31日（土）、8月1日（日） 下北地域 ※新型コロナウイルス感染症の拡大により中止		
---------------	---	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、多くの大会等が中止となっている。 ・令和２・３年度上北郡総合スポーツ大会の開催町村だったが２年連続中止となったため、令和４年度も引き続き開催町村を継続することとなった。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	R2参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見（参考：令和2年度の評価意見）

・より良い活動を活発化するために、寄与できている。 ・コロナ禍で中止。今後野辺地町が主会場となるので、計画的に進めていただきたいと思います。

評価委員意見（令和3年度）

・担当課の評価のとおり。 ・今後もスポーツ協会を支援し、盛り上げていって、活気ある町づくりをしてほしい。 ・スポーツ協会との連携については、開催・中止に関係なくしっかりと継続しておいてほしい。
--

事務事業評価シート

施 策 名	競技スポーツの推進	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	競技スポーツ強化支援事業	担当者名	野坂 鳳真

事業の目的・内容	まち・ひと・しごと創生総合戦略掲載事業 東北大会、全国大会への出場が決定した町内小中学校、高等学校に在籍する個人、団体に対し、事前の強化合宿及び遠征に必要な経費を助成し、大会での上位入賞を支援するとともに、町の子どもの目標となる選手の育成及び競技力向上を目指し、活気ある町勢を実現する。 平成28年度より実施。		
事業の対象	町内小学校、中学校、高等学校に在籍する個人・団体		
事業費	年 度	令和 2 年度決算	令和 3 年度決算
	金 額	1,300 千円	1,297 千円
			令和 4 年度予算
			1,300 千円

事業の実績・成果等 (数値)	申請団体：野辺地高等学校4件 野辺地西高校3件 野辺地中学校1件 入賞者：（東北大会）個人2名、2団体
-------------------	--

事業の評価（自己評価）	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☐ 十分にできている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	・助成対象者へ経費支援を行うことで、大会での好成績を期待する。 ・目標値である、入賞者数（東北大会 5名3団体 全国大会 3名3団体）にはまだ届いていないが、年々東北大会入賞や全国大会の出場等成果は表れているため、引き続き支援を行っていきたい。		
事業の方向性	☒ さらに重点化する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	R2参考
		B	A	B	A	B	B

評価委員意見(参考:令和2年度の評価意見)

- ・より良い活動を活発化するために、寄与できている。
- ・今後も継続してほしいです。
- ・選手のモチベーションにつながる事業なので、引き続き行ってほしいです。

評価委員意見(令和3年度)

- ・この助成事業があつてこそ強化に繋がっていると思いますので、今後も継続してほしい。
- ・スポーツは見えないお金がかかるため、大会参加者へのフォローがあるのは大変良いことだと思う。今後も継続を希望する。
- ・町内の子どもたちに対して、支援対象となった団体や入賞者のことをもっと周知する工夫が必要ではないか。

事務事業評価シート

施 策 名	スポーツ情報の充実	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	スポーツ史発行に向けて記録等の情報収集及び保存	担当者名	野坂 鳳真

事業の目的・内容	スポーツの記録等の収集・保存要領（平成9年制定）のもと、各団体の情報収集を行う。 町制100周年記念スポーツ史 平成9年8月28日 発行 町制120周年記念スポーツ史 平成30年3月発行 150部		
事業の対象	学校、スポーツ協会、スポーツ少年団		
事業費	年度	令和2年度決算	令和3年度決算
	金額	0千円	0千円

事業の実績・成果等（数値）	年2回（11月下旬、3月下旬）学校・スポーツ協会・スポーツ少年団へ大会出場記録等の提供を依頼。 提供された記録等の内容を確認し、収集保存要領に基づき、今後の記念誌作成のための資料等を整理する。		
---------------	---	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	☐ 十分必要である	☒ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない	
自己評価		B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている
評価説明及び考察、課題		・年2回に分けて各スポーツ団体から記録等の情報提供を受け、提供された内容を精査している。 ・収集保存要領により精査するが、量が膨大であるため、保存方法や内容整理が重要。保存方法に関してはPDF化など文書量を減らす等の必要もあり、保存媒体としてCD等も活用し保存に努めたい。 ・10年程度の期間で資料をまとめたものをHP上で公表する等活用方法を検討していく。（記念スポーツ史として発行するか検討。）	
事業の方向性		☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了	

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	R2参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見（参考：令和2年度の評価意見）

・大事な資料であれば、120周年あと次は150周年だと間が空きすぎなので、次の予定は早めに決めて、保存に努めてほしい。 ・インターネットで閲覧できるのであれば、製本する必要がないのでは。記録の保存と活用方法を今後も検討してほしい。 ・担当課の評価のとおり。今後130周年、150周年になるかもしれませんが、10年ごとの資料をまとめておいた方が良いと思います。公民館等でそれぞれの活動が発表できるチャンスもほしいです。
--

評価委員意見（令和3年度）

・担当課の評価のとおり。今後も継続してほしい。 ・年度ごとでこまめに書類、記録を作成する作業は大変だと思うが、こつこつ進めていただき、町の一つの財産として残していったほしい。 ・データの確実な保存をお願いしたい。
--

事務事業評価シート

施 策 名	社会体育施設・設備の整備・運営	担当課名	社会教育・スポーツ課
事務事業名	体育施設の総合的な修理修繕と運営	担当者名	米内山 周大

事業の目的・内容	住民が気軽にスポーツを楽しむことが出来るよう、使いやすく、快適性のある身近なスポーツ施設の整備促進に努め充実を図る。		
事業の対象	社会体育施設（スポーツ施設）		
事業費	年度	令和 2 年度決算	令和 3 年度決算
	金額	6,392 千円	11,707 千円
			令和 4 年度予算
			4,131 千円

事業の実績・成果等（数値）	各社会体育施設修繕 令和3年度			
	支出	町立体育館 修繕	1,424,258円	備品購入 5,024,470円
		運動公園 修繕	618,597円	備品購入 73,150円
		屋内温水プール 修繕	1,863,510円	備品購入 763,400円
		体育センター 修繕	340,925円	備品購入 176,000円
		あったかハウス 修繕	1,293,746円	備品購入 128,700円
	①野辺地町立体育館 修繕：風除室窓枠修繕ほか 備品：柔道用畳、タイマーほか			
	②野辺地町運動公園 修繕：乗用芝刈機、タイル修繕、刈払機修理ほか 備品：パワーブロワー			
	③屋内温水プール 修繕：高圧ケーブル交換、玄関天井水漏れ修繕ほか 備品：券売機購入			
	④体育センター 修繕：床修繕及び防火カーテン取付修繕ほか 備品：業務用掃除機、パネル連結セット			
	⑤あったかハウス 修繕：圧雪車点検整備 備品：組立式テント			

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	☒ 十分できている	☐ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☒ 達成できている	☐ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	成果：予算の範囲内で工事・修繕・備品購入等が予定通り実施できた。 課題：体育施設において修繕等を計画的に実施しているが、老朽化ですべての施設において突発的な修繕が発生している。		
事業の方向性	☒ さらに重点化する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	木村委員	玉川委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	R2参考
		B	A	A	B	B	B

評価委員意見（参考：令和2年度の評価意見）

・施設の設備に関しては、第一に安全面。ここを間違えることなく修繕の順位を決めて実施してほしい。 ・整備不良による事故があってからでは遅いので、今後も精査しながら必要な所には予算をかける必要はある。 ・どの体育施設も老朽化しているので、今後も必要な所から修繕して、町民が安全に活動できるようにしてほしいと思います。 ・限られた予算のなかでの修理修繕となるので優先順位があると思うが、町民に不便をかけることのないよう取り組んでほしい。

評価委員意見（令和3年度）

・各施設が安全で健全に使用できるように、計画的に進めてほしい。 ・各施設の老朽化による突発的な修理等は、町の財政にとっても痛いところではあるが、少しずつ予算内で工夫を続けていき、町民にとって活用できる場を提供してほしい。 ・プールの底上げをあと1、2コース分お願いしたい。
